

# 「つきたい力」を明確にした授業づくり、評価のあり方について

## 大分県日出町立大神小学校

全校児童数	215名(男子107名 女子108名)		
全クラス数	10	教職員数	24名
体育専科教員訪問学校数			4校
訪問校	藤原小学校	豊岡小学校	日出小学校 川崎小学校
体育専科教員名		旭 亮介	

### Plan：取組時の課題と計画

#### 1 取組時の課題

◇体力状況調査の結果等から

- ・低い傾向にあった体力の向上（50m走、反復横跳び、立ち幅跳び）のための運動の仕方の工夫をしていく。

◇生活習慣調査等から

- ・運動に対する愛好度の向上

#### 2 取組の計画

- 「つきたい力」を明確にした体育授業の構築・展開
  - ・運動好きな子どもの増加
  - ・運動量の十分な確保、多様な運動経験、成功体験の蓄積
- 指導者の意識、指導力の向上
  - ・体育授業の単元計画や評価の観点をデータで送る。
  - ・体力向上プランや一校一実践の組織的・継続的な取組
- 体育環境の充実
  - ・運動施設の整備や利用方法の工夫、体育倉庫や教材・教具の整理整頓
  - ・意欲向上につながる校内掲示などによる運動の日常化、望ましい生活習慣の確立

### Do：実践内容

#### 1 体育授業の充実

- ①個に応じて選択できる場づくりの工夫
- ②普段経験できない運動が意欲的に取り組むことができる場の工夫

#### 2 指導者の意識、指導力の向上

- ①T1となって授業を提示、またT2としての専門的アドバイス
- ②体力向上プランや一校一実践の作成の支援
- ③一人一台タブレットの活用例の紹介、または実践
- ④愛好度のアンケートの実施、町内体力向上推進委員会による各校の実践事例の情報交換
- ⑤年2回の体育実技講習会の開催、県体育保健課指導主事を招聘しての公開授業（6年 ゴール型「アルティメット」）

#### 3 体育環境の充実

- ①運動場や体育館、体育館倉庫やラインの補修
- ②体育用具の補充アドバイス、整理整頓
- ③掲示の工夫による動きやポイントの可視化

#### ●工夫したこと（&苦労した点）

- 体育授業の充実、指導者の意識・指導力の向上
  - ICTの活用（器械運動における録画、ボール運動やゲームにおける個の動き、チームの作戦の振り返り）
- 指導者の意識、指導力の向上
  - 単元計画や場の工夫、評価の観点をデータで指導者に送り、「つきたい力」のための授業展開を共通認識。

○体力向上推進委員との連携（月訪問計画の提出）

○訪問授業：日出町内の小学校4校に基本毎週訪問

	月	火	水	木	金
	藤原小	豊岡小	大神小	日出小	川崎小
前期	午後 5, 6年		1日	午後 5, 6年	
後期	午前 1～4年			午前 1～4年	

※5～7月の運動会、体力状況調査、水泳指導の時には1日訪問。

○「日出町共通フォルダ」を活用したデータの共有化。

(3) 体育環境の充実、家庭への運動や体力に関する注意喚起

○体育行事の実施による体力向上

○運動場整備、体育館や体育倉庫の用具整理整頓、補充

○体育教具の作成

○月1回の「体育通信」の発行、家庭への配布

### Check：取組の成果

(1) 体育授業の充実について

○スモールステップにより「できるようになった」という子どもが増えた（鉄棒、跳び箱、マット運動にて）

○ゲームにおいて、自分たちの動きを見ながら個の動きや作戦について真剣に話し合う姿が見られた。

(2) 指導者の意識、指導力の向上について

○水泳、ゲーム、器械運動などでタブレットを活用する指導者が増えてきた。

○各学校の指導者による「つきたい力」をもとにした授業内容が充実してきた。

○「器械運動」「ゲーム」などにおいて積極的にタブレットを活用して行おうとする指導者が増えてきている。

(3) 体育環境の充実について

○各校で教材や教具をそろえたり作成したりとする動きが多く見られ、子どもたちの活動が意欲的になった。

### Action：今後の課題

○体力運動能力状況調査にて、「50m」「反復横跳び」に課題があった。来年度、改善に向けて計測方法や取り組みせ方について工夫していく。

○一人一台タブレットの活用について、少しずつ活用しようとする指導者は増えているが、全体的には活用が不十分である。領域の「場面」「効果」を周知するとともにまずは一単元どこかで活用していくことを目標とし、周知していく。

○他校の指導者からの連絡調整を体力向上推進委員が行ってくれ、比較的スムーズに授業に取り組むことができた。さらに、体育授業の進め方についてT1として指導する姿を見せながら広めていく。

○器械運動系中心とした様々な運動経験を低学年のうちにさせておくことが必要である。指導者が積極的に取り組めるような指導方法などを今後も伝えていく。

### ◎体力向上の取組がもたらす波及効果

- ・運動への愛好度の向上、苦手としている子どもの意識改革
- ・体育授業に取り組む指導者の意識、指導方法の改革
- ・全小学校への訪問による他校との連携・情報共有
- ・体育環境の充実

タブレット活用の風景



ゲームでの動きを録画し、作戦タイムの振り返りに活用する。



マット運動の連続技の出来栄を録画にて確認。アドバイスをし合う。



走り高跳びの様子を録画で確認し、コツやポイントなどを教え合う。

体育実技講習会(体力状況調査の工夫)



月1の体育通信(家庭へ喚起)



掲示による体育への喚起、可視化



プールに泳ぎのポイントを掲示



跳び箱運動期間中に掲示



運動場サーキット(ネットタッチ)



体育館サーキット(握力)

町内授業公開研(6年、ボール運動:ゴール型(アルティメット))



指導者へ単元計画や内容の提示、町内共通フォルダへの資料の蓄積

